福祉職員・教員・保護者・研究者・学生へ



ポジティブ行動支援

PBS で ともに育つ ともに変わる

ー福祉の現場で積み重ねてきた３年間、これからー

OPEN 特設サイト

12.13 日 10:00~16:00

受付開始　9:40

グランフロント大阪

北館タワー C ナレッジキャピタル　C03+04
JR 大阪駅より徒歩 5 分

こんなお悩み、ありませんか？

- 支援を極めたい キャリアに悩んでいる
- 連携、何から 始めれば・・・
- 事例検討の負担を 減らしたい
- 興味はあるけど、 相談する機会がない

基調講演　スティーブ・グッドマン博士

「PBS を効果的に進めるための連携づくり」

Partner, Center on PBIS
コネチカット大学

PBS の取り組みを成功させるためには、学校・家庭・関係機関の連携が欠かせません。本セッションでは、PBS の枠組みにおいて連携がなぜ重要なのか、効果的に連携を進めるための工夫、そして連携がうまく機能しているかどうかを見極める方法についてお話しします。あわせて、連携をより良いものにするための参考資料もご紹介します。



※自動翻訳字幕あり

参加申込

- 一般　3,000 円
- 学割　1,000 円
- アーカイブ配信　1,500 円
  ※午前の部、基調講演のみ

Peatix

定員　180 名　先着順

主催　日本ポジティブ行動支援ネットワーク / シーアイ・パートナーズ コンソーシアム

本事業は休眠預金活用事業の一環として実施します

問い合わせ
apbsjapan
@gmail.com

舞い上がれ 社会を変える みんなの力 休眠預金活用事業

PBS で
ともに育つ・ともに変わる

「エビデンスに基づく行動支援」の普及を目指す地域ネットワーク構築
- ポジティブ行動支援（PBS）がノーマルになる社会をみんなで創る -

日本ポジティブ行動支援ネットワーク (APBS-J) と株式会社シーアイ・パートナーズのコンソーシアムが、科学的エビデンスに基づく ABA・PBS の専門知見を障害児通所支援事業所に広げ、支援の質を高める仕組みづくりを目指しています。柱となるのは、①人材育成、②学校・家庭・事業所の連携モデル構築、③AI を活用した支援 DX ツールの開発の 3 つです。本報告会は、その 3 年間の集大成です。

午前の部

- 休眠預金活用事業の概要とビジョン　大久保賢一（APBS-J 代表理事 / 畿央大学）
- PBS 認定コーチ育成プログラムの開発　大対香奈子（APBS-J 理事 / おくりあい）
  （株式会社シーアイ・パートナーズ）
- 学校・家庭・福祉の連携強化と
  支援 DX（チャットボット）の開発　庭山和貴（APBS-J 副代表理事 / 大阪教育大学）
- CIP トライアル品質管理と成果報告　谷部有彦（株式会社シーアイ・パートナーズ）

基調講演

- 「PBS を効果的に進めるための連携づくり」
  スティーブ・グッドマン博士　(Partner, Center on PBIS)
  (コネチカット大学) ※自動翻訳字幕あり



午後の部

- パネルディスカッション：
  「さまざまな立場から見えた PBS 実践導入の価値と課題」
  登壇者：家住教志（株式会社シーアイ・パートナーズ代表取締役 CEO）
  平澤紀子（APBS-J 理事 / 岐阜大学）
  福祉職員、学校教員、保護者



主催　日本ポジティブ行動支援ネットワーク /
シーアイ・パートナーズ コンソーシアム

本事業は休眠預金活用事業の一環として実施します

問い合わせ
apbsjapan
@gmail.com

舞い上がれ 社会を変えるみんなの力 休眠預金活用事業